

開講科目名 / Course	看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	廣田 真里	
担当教員名 / Instructor	秦 さと子、廣田 真里	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	看護を原理的・本質的に理解することで看護を探究し、創造していく基盤を養うことを目的とする。看護学の基盤となる主な概念を学び、看護の対象となる人とその生活を理解するとともに、看護提供の仕組み及び看護専門職の役割・機能について学習する。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護とは何かについて自分の言葉で述べることができる。 2. 看護の対象となる生活者としての人間について述べるができる。 3. 看護の役割や機能について説明できる。 4. 看護提供の仕組みについて説明できる。 5. 看護専門職としての基本的な態度について説明できる。 	
DPとの対応	1.確かな看護の力・技術力、3.心豊かな人間性と倫理観、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5.国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 看護とは（1）看護の本質、看護の役割と機能 02. 看護の対象の理解（1）こころとからだ 03. 看護の対象の理解（2）生活者としての人間 04. 看護の対象の理解（3）健康と生活 05. 看護の対象の理解（4）看護過程 06. 看護の提供者（1）看護の歴史の変遷 07. 看護の提供者（2）看護職に関する制度 08. 看護における倫理 09. 看護提供の仕組み（1）看護サービスの管理 10. 看護提供の仕組み（2）医療安全と医療の質保証 	
その他の授業の工夫	自分で考え、創造していく力を養うため学生間で話し合ったり、発表する機会を多く設定する。また、前回の授業での学びを授業開始時に反復する機会をもつ。さらに、当該授業での終わりには、学びを振り返ることで、自分の考えをまとめたり、考えを深めることを目的にミニレポートを課す。	
時間外学修	授業計画に基づき、教科書など対応する内容について事前学習を行うことを推奨する。授業内容によってレポート課題を課す。	
評価方法と評価割合	出欠席（10%）、筆記試験（40%）、各種提出物（20%）、授業態度（30%）などから総合的に評価する。筆記試験は1回実施する。提出物には各回の授業でのミニレポートも含み、ミニレポートの成績も評価に含まれる。	
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1]（医学書院） 2. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2]（医学書院） 3. 看護覚え書（現代社） 	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	廣田真里：病院の看護師・看護部長 秦さと子：病院の看護師・副看護師長
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護の対象となる多様な人々との関わりや看護現場の具体例を示すことで、イメージしにくい抽象的学習内容を理解しやすいように工夫する。	